

| | |
|-----|--|
| 日 時 | 令和3年7月6日(火) 13:30~15:00 |
| 出席者 | 企画部長 事務局 |
| 相 手 | なめがた未来のまちづくり協議会委員 15名 |
| 場 所 | 麻生庁舎情報交流センターホール |
| 主 旨 | 第2回なめがた未来のまちづくり協議会 |
| 内 容 | <p>件名につきまして、別紙のとおり開催いたしました。</p> <p>1. 開会 司会：政策秘書課長</p> <p>2. あいさつ： 秋山会長</p> <p>災害等色々なことが起こっている。協議会においては行方市の皆さんが安心安全にするにはどういったことをしたらよいかお聞きしながら進めていきたい。ワクチンが2回接種が終わったところである。</p> <p>行方市でもオリンピックの聖火リレーが終わったところ。</p> <p>色々な時代があるが、お思いになっていること、ご意見ご指摘事項を踏まえて協議会が大いなるものを願っている。ご協力をお願いいたします。</p> <p>3. 議題</p> <p>(1) 行方市総合戦略更新作業の進捗について</p> <p>事務局説明</p> <p>質疑</p> <p>Q【委員】</p> <p>質問というほどでもないが、市民の意見を取り入れていく、新しいまちづくりをしていこうというお気持ちはとてもありがたいと思う。</p> <p>A【秋山会長】</p> <p>各地域のまちづくりをしているところではあるが、一般市民の立場を尊重しながら作っていくということは素晴らしいのではないかと考える。</p> <p>市民の皆さんが真剣になって、どんなまちにしていくかを考えていくことが重要ではないだろうか考える。努力をしながらやっていきたいと思う。</p> <p>Q【委員】</p> <p>100人委員会、弊社の社員も入っており、議論させてもらっている。多岐にわたって市民の意見を聞きながらギャップを埋めていくことは重要であろう。資料は詳しく読み込めていたわけではないので、詳しく読んだうえで議論できればと考えていた。</p> <p>①働く場の拡大プロジェクト</p> <p>農林水産課基幹産業である農業を盛り上げるのという点について(別紙提出シートまとめ参照)</p> <p>②みんなで育むプロジェクト</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>いばらきっ子郷土検定について（別紙提出シートまとめ参照）</p> <p>郷土を愛することが重要であろう。</p> <p>中学二年生が全国で競争を行っており、市の代表の中学生が集まり、全県ナンバーワンを決める大会を行っている。行方市はほぼほぼ全員が参加している。市町村によってはあまり取り組んでいない市町村があった。喜んでいる。</p> <p>いばらきっ子郷土検定は皆さんも参加できる。私は2級取れなかったが、市町村も選べるし、県も選ぶことができる。ぜひ皆さんも参加ください。子どもの教育は、非常に関心があるし、気持ちを持つということは大切なことであろうと考える。</p> <p>A【企画部長】</p> <p>玉造中学校が県大会に出場し、なめテレで放送している。</p> <p>今後も取組に郷土のことを知ってもらえるように進めていきたいと思う。</p> <p>Q【委員】</p> <p>仕事でも携わっており、みんなで育むプロジェクトを中心に見させていただいた。ポテンシャルはあると思う。</p> <p>4-01-2</p> <p>この地域で子育てしたいと思う人の増加 KPI の実績値は地方としては高いだろう。</p> <p>4-02-11</p> <p>一つ一つのパーツだけではなく、地域住民がやりたい姿を実現していく課題、一体となって育むことが重要であろうと思う。ハードをつくって解決していくということよりは、自然体で育もうと考えることが重要であろう。</p> <p>それを実現するための施策が、決め手がないのが実情。ボランティア活動とか挙げているが、どう実現するかが今後の課題。</p> <p>4-03-02</p> <p>子育て成果指標、子育てしやすいと感じる人の割合の増加では、2018は57%と増えているが、2019は39.7%となっている。</p> <p>想像であるが、買い物が不便であるということなのでは。</p> <p>どういう項目にするか、指標はよく見ていった方が良好だろう。</p> <p>項目で上げた通り、まち全体でカバーできる部分であろう。</p> <p>成果指標を図っていくうえで粒を小さくしたものを挙げていけばよいだろう。</p> <p>A【企画部長】</p> <p>少子化が非常に進んでいる。子どもは地域の宝である。地域全体で環境づくりを取り組んでまいりたい。</p> <p>子育てしやすい人の割合について、細かい視点指標を作成する必要があるだろう。</p> <p>ご意見を頂戴して的確なニーズを把握していきたいと考えていきたい。</p> <p>A【秋山会長】</p> <p>日本の合計特殊出生率は1.34という状況である。韓国は1を下回る。</p> <p>行方市はスクールバスをつくっている。安全性にはいい。車社会である。交通</p> |
|--|--|

事故の機会が多いように感じる。行方市はスクールバスを混乗化も検討しているようだが、考えている市であろう。より良いまちづくりにしていきたいと考える。

Q【委員】

いばらきっ子郷土検定の話で、取手市で県大会に行けないので講座の依頼を受け、2年生向けに必勝講座を行った。その年に県大会に行けた。気づき働きかけで世代の関心の振れ幅が変わる。郷土の価値に気づいたりする。5年10年後にポジティブな効果が生まれるのではないだろうか。

自由記述欄

ありたい姿を描いて成果指標を立てているが、これが立てた当時は27年度で、今はコロナ禍で変わったが、求められるありたい姿が激変する可能性がある。5年後10年後がそれ以上に進んでしまっている。そもそも医療機関がいないのではないかという話にもなる。診療が、医療の質が上がるのではないか。時代の先は読みづらく、政府がSociety5.0といているが、行方市で先駆的にできるようなものを指標として入れていただくようなアプローチもあるとよいのではないだろうか。市の若い世代や、過ごしていく人が長い人にも先駆的に進められるのではないだろうか。

A【企画部長】

委員のおっしゃったように、まちの在り方は時代とともに変わってくるだろう。意見を踏まえていきながら、試行錯誤をしながらやっていくことが重要ではないだろうか。

表面上のことだけで、考えるのではなく、行政、市の特性を生かしたまちづくりをどう作っていくかを専念したい。委員の意見を取り入れながら考えていきたい。

4月に行方市が一部過疎化と認定されてしまった。

政策の進め方を反省し、残念な結果であろう。厳しく受け止めていく。

5年前とはコロナ、特に、SDGsの推進など変わってきている。

行方市でも先進的な施策をということなので、紹介する。なめテレは行方市独自の光ファイバー線を活用して視聴拡大している。エリア放送のみならず、全戸に無料Wi-Fiを置ければ、高齢者にオンラインの見守り、診療、閉域的な光ファイバーがあるので進めていきたいと考えている。議会も承認いただき、モニターはテレビ会議システム、玉造、北浦庁舎等の会議を行っているが、光ファイバーを使用して会議できるように作っている。

全小中学校、公民館図書館でつながって、直接の会議ができるエリア会議直接ご出演していただけるように試験運用中である。回線が途切れることがない、安定したもの、通常のランニングコストはかからない。

先進的な形だと思うので、市民の方々に還元していきたいと考える。

具現化できる技術を目標として進めている。ご紹介させていただきたいと思う。遠いことではないかもしれない。旧麻生は過疎の認定を受けているので、

| | |
|--|--|
| | <p>田舎暮らしの環境を空き家を活用するといった。割と早いものを考えている。議会と相談をしながら進めていきたいと考えている。</p> <p>Q【委員】</p> <ol style="list-style-type: none">① KPI がそれぞれ違うのだが、その理由② 100人委員会ではどういったものが議論されているのか③ 消費者ニーズにこたえる、地域特産品を発信する上でどのように考えているのか。 <p>A【事務局】</p> <ol style="list-style-type: none">① 成果指標を継続しているものだけでなく、新たに設定しているシートもある。数値化できるような成果指標を設定していきたいと考えている。② 行政が作成したシートから、ありがたい姿を市民の意見とすり合わせを行っている。例：ブランド戦略室③ 消費者ニーズを知るためには、市民だけの意見だけではなく、マーケットインの考え方を意識しながら取り組んでいる。 <p>4. その他</p> |
|--|--|